

日本物理学会誌は日本物理学会員のための月刊機関誌である。主として日本語で書かれているが、日本国外に在住の方や学会員でない方の購読も受け付けている。本誌は、物理学の今日の状況、とりわけ日本の物理研究者の間における動きや物理学の諸問題、また物理学と社会との関わりから生じる諸問題の動向がわかる貴重な情報源と言えよう。本稿ではその日本物理学会誌における「特集」「小特集」のスタイルファイル butsuri2.sty についてその利用法を解説する。

## 1. はじめに

本スタイルファイル (butsuri2.sty) は、日本物理学会誌における「特集」および「小特集」の記事を執筆するためのものである。本稿において、原稿作成の注意およびスタイルファイルの使い方を解説する。

## 2. 簡単な使い方

基本的にはサンプルファイル (tokushu.tex) の対応する部分を修正してコンパイルすればよい. 表 1 に命令一覧を記す. 著者は 4 名まで対応しており, それ以上の人数には対応していない. 下記にコンパイルに必要なファイルを記す.

- tokushu.tex
- butsuri2.sty
- image.pdf

here.sty, graphicx.sty, color.sty, epic.sty, eepic.sty の各パッケージは標準で読み込まれているため、改めて usepackage 宣言をする必要はない。amsmath パッケージを使用すると、参考文献の直前に新たな節が本文もタイトルも無しに表示されるので注意すること。但し、こののスタイルファイルはあくまで刷り上がりの参考のためのファイルであり、このまま印刷されるのではなく印刷所にて組版を行うため、参考文献や脚注等、投稿規定通りに書式を指定できない場合があってもそのまま差支えない。

執筆する前に、必ず自身の環境で利用される文字コードと改行コードと合っているのかを確認すること。(文字コードや改行コードが違っているとコンパイルができない場合もあるので注意。)

platex -version

と打つと、自身の LaTeX 環境の文字コードを確認できる。異なる場合は、butsuri2.sty およびサンプルファイル (.tex) の両方の文字コードおよび改行コードを、自身の TeX 環境に合わせて使用する。

### 3. 執筆要綱

刷上りページ数には本文のほか、図表を含める。原稿は2段組で掲載され、刷上り1頁あたりの目安は図表がない場合、26字×50行×2列である。日本語抄録は300字以

表 1 本スタイルファイルを使った場合の命令対応表. このうち, `authorinfo`, `career`, `photo`, については人数分定義する.

内容	命令
和文タイトル	<code>\title{}</code>
英文タイトル	<code>\titleE{}</code>
著者情報	<code>\authorinfo{氏名}{所属}{e-mail}</code>
英文氏名	<code>\authorE{}</code>
和文抄録	<code>\abstract{}</code>
英文抄録	<code>\abstractE{}</code>
著者紹介	<code>\career{}</code>

内とし、参考文献の後に著者写真、著者紹介文、英文抄録をつける。

career 命令および photo 命令は人数分定義する. どちらの場合も句読点は全角のカンマ「,」およびピリオド「.」とする.

#### 4. 図表について

図表は1頁1つ程度を原則とする。図や表は著者が用意し、説明文(キャプション)はそれだけで内容がわかるようにつける。図はEPSファイルの場合は、`\includegraphics`命令で入れることを推奨する。たとえば、

$$\backslash includegraphics[width=0.8\linewidth]{image.pdf}$$

とすれば, image.eps という名前のファイルを, 本文の 80% の大きさで取り込むことができる. この例の結果が図 1 である.

## 5. 原稿の閲読について

原稿は、このテーマを専門とはしない研究者に読者に読んでもらうことを想定し、閲読をする場合がある。閲読者の意見も考慮して内容等の修正をお願いする場合があるので、あらかじめ了承されたい。

## 6. 象の卵

象の卵はおいしいぞう。象の卵はおいしいぞう。象の卵  
はおいしいぞう。象の卵はおいしいぞう。象の卵はおいし  
いぞう。象の卵はおいしいぞう。象の卵はおいしいぞう。象  
の卵はおいしいぞう。象の卵はおいしいぞう。象の卵はお  
いしいぞう。象の卵はおいしいぞう。象の卵はおいしいぞ  
う。象の卵はおいしいぞう。象の卵はおいしいぞう。象の  
卵はおいしいぞう。象の卵はおいしいぞう。象の卵はおい

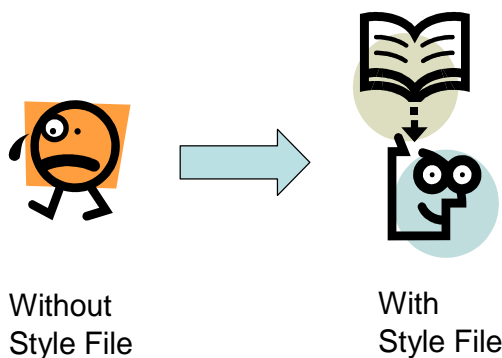


図1 スタイルファイル使用のイメージ。スタイルファイルが存在しない場合(左図)は仕事がなかなかはかどらず、非本質的なところで苦勞するが、スタイルファイルがある場合(右図)は、文章の構成といった解説の本質的部分に集中することができる。

しいぞう。象の卵はおいしいぞう。象の卵はおいしいぞう。  
象の卵はおいしいぞう。

## 7. 著作権

会誌に掲載された記事の著作権は日本物理学会に帰属する。転載等による記事の利用にあたっては、日本物理学会の承認を必要とする。ただし、別に定める基準を満たす場合には、その限りでない。

会誌に掲載された記事の全部または一部を他の出版物に転載し、翻訳し、あるいはその他の利用をしようとする者は、別に定める基準に従って日本物理学会の文書による承認を得、またその記事が会誌に掲載されたものであることを明記(出所明示)し、著作者の了解を得なければならない。

著作者が、会誌に掲載された記事の全部または一部を、改変することなく学術情報として著作者自身で利用する場合には、別に定める基準に従うものとする。

日本物理学会は、いかなる媒体や手段においても、著作物の全部または一部を公開する権利を有するものとする。

## 8. 図面の転載

日本物理学会誌では他の文献から図面を転載する場合には、投稿規定に基づき、原著者および出版者より転載許可を求めることになっている。転載される図は、最初に掲載された文献を引用すること(孫引きは不可)。

従って、記事中で他の著者の図を転載する際には、原図の著者および出版者より転載の許可を得て下さい。

また、自身の論文から図面を転載する場合にも出版者から許可を受ける必要があるので、注意すること。

### 参考文献

- 1) T. Butsuri and H. Butsuri, Phys. Rev. E **75**, 040102(R) (2007).
- 2) 物理太郎, 物理花子, 日本物理学会誌 **62**, 785 (2007).
- 3) T. Butsuri, H. Butsuri, and J. Butsuri, Phys. Rev. Lett. **82**, 080123 (2018).

### 著者紹介

顔写真

顔写真

物理太郎氏: 大規模数値計算と非平衡統計力学, および仕事の合理化一般に興味がある。

物理花子氏: 専門は素粒子論。特に超弦理論から導かれる素粒子の現象論的性質に興味がある。英文教科書の和訳, および大学基礎教育にも力を入れている。

(2023年12月6日原稿受付)

### Style File for Review Article in BUTSURI

Tarou Butsuri and Hanako Butsuri

abstract: A LaTeX style file for Physical Society of Japan is prepared. This style file is provided "as is". There is no warranty for this style file.